

# 現役世代会長のアクションで 町内会運営がスリムでスムーズに



門田東町内会 会長 星川 陽平さん

## コミュニケーションツールに LINE WORKSを活用

若林区にある門田東町内会では、会長・副会長ともに30歳台で、役員は30歳台から50歳台が中心です。その他の60歳台以上の役員も仕事をしている人が多いことから、負担軽減のためにLINE WORKSを導入しました。

インターネットでコミュニケーションツールについて調べた際に、ちょうどLINE WORKSで非営利団体向け特別プランが始まったことから、まずは役員間で試験的に実施しました。

当初は既に他都市の町内会で利用されているアプリケーションの利用を検討していましたが、ライセンス料が必要となるため二の足を踏んでいました。しかし、LINE WORKSはフリープランもあり、非営利団体向け特別プランであれば無料で最大1000人、50GBのストレージが利用できる（令和5年11月現在）ということもあり、コストを掛けずに利用できることからLINE WORKSを選びました。

## 役員の負担軽減だけでなく ボランティアの参加増も

導入にあたっては、当初、一部の役員からは操作などを不安に感じる声もありましたが、手順書を作成した結果、班長を含めた役員間で導入が進みました。今年度の班長については、10名中8名が利用しています。

導入したことにより、それまで会長が各役員、班長の自宅へ周知物をポスティングしていたものが、LINE WORKSで一度に全体周知することが可能になったこと



LINE WORKS トーク画面

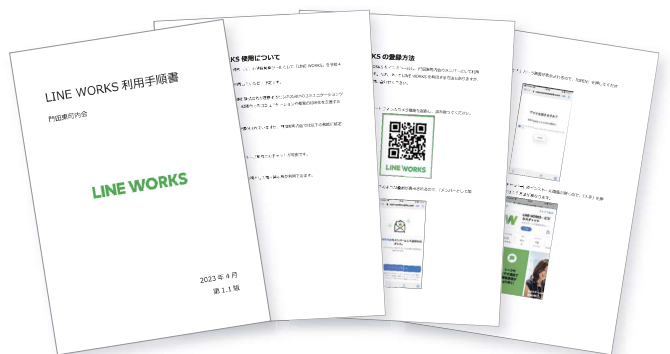
をはじめ、公園管理のボランティア募集などにも活用することができるようになりました。毎年、公園の落ち葉拾いを行うのですが、LINE WORKSを活用して周知したことで、人が集まるようになりました。

また、「デジタル」ではありませんが、役員が集まって近くのコミュニティ・センターで印刷・製本していた総会資料なども、印刷等を業者に依頼することで、役員の負担軽減につながっています。

## 業務の見える化などで 様々な世代が参加しやすく

役員業務を「見える化」とすると同時に、次の世代への引継ぎのため、自身の取り組みや行政への申請手続きなどをテキスト化して、LINE WORKS内で共有しています。こうしたことにより、会長の負担が減り、役員ノウハウの蓄積にもなりました。デジタル化を進め、業務の効率化を進めるだけでなく、業務に関するさまざまな内容をテキスト化、ドキュメント化して共有、保存することで、多忙な現役世代でも町内会で活躍できると思ってもらえたらいいなと考えています。

持続的な町内会活動に向け、さらにいくつかの構想があります。具体的には、会長の任期見直し（2年から1年）、10班ある班の再編、電子閲覧板と既存の紙の資料との併用、芋煮会等の行事のボランティア制などを考えています。こうした取り組みを通じて、さらなる役員の負担の分散化や年齢層に関わりなく町内会に関われるようにしたいです。



LINE WORKS 利用手順書